

平成29年度実施総合戦略事業評価シート

※地方創生推進交付金活用事業

【担当課：産業振興課】

基本目標	2	「住みたい」「訪れたい」と思う魅力を創る	当初予算	5,000,000 円						
施策の基本的方向	4	観光施設の磨き上げ	執行済額	2,420,924 円						
事業名	7	広域連携による観光振興事業	執行交付金	1,182,812 円						
事業概要	近隣自治体と広域連携することで観光メニューが広がり、都市部や国内外からの観光誘客による交流人口の更なる増加を図る。									
事業の取組み (経費内訳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業実行委員会補助金 968,824円</li> <li>・体験型観光メニュー作成委託料 496,800円</li> <li>・臨時バス運行業務委託料 555,300円</li> <li>・観光地整備事業補助金 400,000円</li> </ul>									
	重要業績評価指標			目標値	単位	H28	H29	H30	H31	H32
施策評価	①	観光入込客数の増	102.4万人	人		101.4万人				
			達成			→				
施策評価	②									
		達成								
事業効果	② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本事業は地方創生に非常に効果的であった。 ※ 指標が目標値を上回ったなどの場合</li> <li>② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。 ※ 目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成したなどの場合</li> <li>③ 本事業は地方創生に効果があった。 ※ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善した場合</li> <li>④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった。 ※ 実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合</li> </ul>								
課題	近隣市町同士の交通機関へのアクセスがあまり良くないため、観光客が周遊しながら観光することが困難である。									
事業実績・今後の予定	観光客入込客数は目標値の相当程度を達成したが、引き続きバス事業実行委員会補助金を継続することで新規の観光客やリピーターを増やしていく。また、体験型観光メニューの実証を行い、ツアー会社での利用を実施していただく。									

■事業の評価

事業の評価	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。 ② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。 コメント： 市原市、君津市、大多喜町を結ぶ鉄道はなく、それぞれの観光名所のポテンシャルを活かすために広域連携による取り組みは必要であり、一定の効果はあったかと考える。
事業への意見	※1 「有効であった」 ⇒ 良かった点、評価する点について記載してください。 ※2 「有効とは言えなかった」 ⇒ 良くなかった点、何が原因であったか、改善策について記載してください。 地域内の人の流れを促進させるという視点が見られない。事業を行うだけでなく、その後の効果と波及状況を把握していくべき。地域資源の魅力化を膨らませる構想を練った上で、進行中の諸事業を位置付け直し、広域連携を作り出していく必要がある。	

▼推進会議の評価を受けての今後の方針

今後の方針	② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業が効果的であったことから取組みの追加等更に発展させる。</li> <li>② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。)</li> <li>③ 特に見直しをせず事業を継続する。</li> <li>④ 継続的な事業実施を予定していたが中止した。</li> <li>⑤ 当初予定通り事業を終了した。</li> </ul>
今後の方針の理由	個々の事業が相互に関連し合い、最終的に里山の魅力へと繋がっていくようコンセプトを再度、共有しながら事業を実施していく。	